

中期経営計画とサステナブル経営

サステナブル経営の全体像

年々深刻度を増す地球の温暖化をはじめ環境・社会課題は
不可避かつ世界共通の課題となっています。国内外におけ
る非連続な変化によって、私たちは時代の大きな転換点に
立っており、従来の延長線ではない、将来の変化を見据えた
価値創造が求められています。加えて、国連の「持続可能な
開発目標(SDGs)」や気候変動の新たな枠組みである「パリ
協定」等、社会の持続可能な発展に向けた国家・企業での
取組みが進展しています。

こうした変化を受け、企業に期待される役割は急速に変化し
ているものと認識しています。現在では、企業が持続的(サ
ステナブル)に事業活動を行うためには、その事業基盤であ
る環境・社会を持続可能とするような事業活動を通じた貢
献が求められています(=サステナブル経営)。

当金庫は、コーポレートブランドステートメントとして“持て
るすべてを「いのち」に向けて”を掲げています。農林水産
業者の協同組織を基盤とする金融機関という原点に立ち返
り、当金庫のみならず、当金庫を取り巻く重要なステークホ
ルダーのみなさまにとって大切な持続可能性に関する課題
に適切に対応することにより、環境・社会の持続可能性とと
もに、当金庫の経営の持続可能性の向上を目指します。

また、2020年度から、当金庫の「サステナブル中期目標」をグ
ループ会社(右記参照)の「サステナブル中期目標」として位
置付け、各グループ会社で施策を検討し、実践していきます。

ブランドステートメント

私たち農林中央金庫の仕事は、
ある日突然、世界を大きく変えるようなものではない。

なぜなら私たちが向き合う農林水産業とは、
自然を相手にし、一朝一夕に変化や成果を生み出すものではないから。
モノをつくるのではなく、「いのち」を生み、育て、繋いでいくものだから。

だからこそ私たちは、世界の金融市場で安定した利益をあげるという挑戦を続け、
規模の大小を問わず、地域の農林水産業を守る人々に尽くす金融機関として生きてきた。
そして、90 余年の歴史を重ねてきた。

しかしこれからは、それだけでは十分とはいえない。
農林水産業が、時代の変化をとらえ発展し続ける産業になるためには、
私たちは、これまで以上の役割を果たさなければならない。

金融の知見を活かしながら、いままでの機能や範囲を超えた新たな貢献へ。
現場の課題の解決に、身をもって真摯に挑んでいく。
生産者はもちろん加工や流通、そして消費者と向き合い、その声に応えていく。

農林水産業から生まれる「いのち」は、
その先に連なるたくさんの「いのち」の営みに繋がっている。

いまこそ、私たち一人ひとりが、持てるすべてを発揮する時。
未来へと受け継がれるこの「いのち」の連鎖を、
より豊かで確かなものにするために。

持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

農林中央金庫

サステナブル中期目標の対象となる
グループ会社

- 農中信託銀行(株)
- Norinchukin Australia Pty Limited
- Norinchukin Bank Europe N.V.
- (株)農林中金総合研究所
- 農林中金ファシリティーズ(株)
- 農中ビジネスサポート(株)
- 農林中金ビジネスアシスト(株)
- (株)農林中金アカデミー
- 農林中金バリューインベストメンツ(株)
- 協同住宅ローン(株)
- 農中情報システム(株)
- JAカード(株)
- 農林中金全共連アセットマネジメント(株)
- 系統債権管理回収機構(株)
- アグリビジネス投資育成(株)

サステナブル経営の全体像

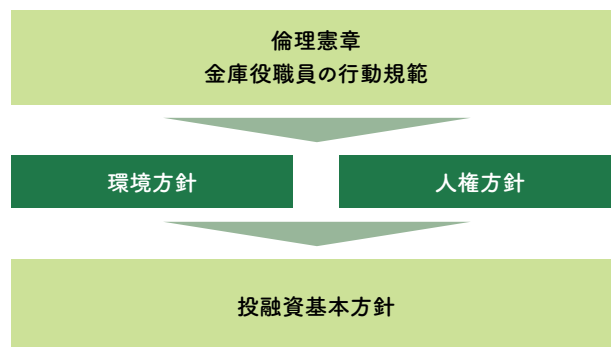
I サステナブル経営を支える理念・方針

当金庫では、「倫理憲章」において「社会の一員として、地域社会等と連携し、すべての人々の人権を尊重しつつ環境問題等の社会的課題への対応に努め、持続可能な社会の実現に貢献すること」を定めています。

倫理憲章(抜粋)

- 1 基本的使命と社会的責任
- 2 質の高いサービスの提供
- 3 法令等の厳格な遵守
- 4 反社会的勢力の排除、テロ等の脅威への対応
- 5 透明性の高い組織風土の構築
- 6 持続可能な社会への貢献

サステナブル経営実現に向けて、環境課題の解決や人権尊重にかかる基本姿勢を明確化し、役職員の意識醸成・認識統一を図り、そのうえで、ビジネスや役職員の行動において、具体的な取組みを推進するための方針として、2019年11月に「環境方針」「人権方針」を制定しました。



II 「環境方針」「人権方針」における2つの特色

①「金庫の基本的使命」を掲げています

環境と密接に結びつく農林水産業の発展を通じて、経済の発展に貢献することは、当金庫の使命です。また、農林水産業に従事する方々がより多くの幸せを享受できるよう努め、相互扶助を通じて人間の尊厳と平等に根差した公正な社会の実現を図る理念をもっています。

②「健全な企業文化の醸成」を重視しています

両方針の実行にあたっては、健全な企業文化の醸成・定着が密接不可分と考えています。環境問題・人権問題への適切な対応を進めつつ、事業活動を通じて発生するリスクと得られるリターンを常に意識すること、職員一人ひとりが透明性を確保しつつ自己責任意識を持って行動すること、闊達で自由な議論や多様な意見を尊重し魅力ある職場づくりを実践することに取り組めます。

環境方針のポイント

- ① 「金庫の基本的使命」を踏まえ、系統団体と連携・協力のうえ持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言します
- ② 環境問題解決に向けた国際的基準・イニシアティブ^{※1}の支持・参加を宣言します
- ③ 本業の投融資を通じて、環境方針を踏まえた具体的な取組みを実施することを宣言します
- ④ 農林水産業を基盤とする金融機関として、「気候変動」^{※2}、「生物多様性」を特に重要な環境問題と置き、事業活動を通じて対応していくことを宣言します
- ⑤ 当金庫業務運営のバックボーンである健全な企業文化醸成と両輪で、環境問題への対応に取り組むことを宣言します

※1 国連グローバル・コンパクト、赤道原則、CDP、21世紀金融行動原則、TCFD

※2 TCFD提言を支持し、提言の趣旨を踏まえた今後の取組みを進めていくことに言及

人権方針のポイント

- ① 「金庫の基本的使命」を踏まえ、系統団体と連携・協力のうえ持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言します
- ② 人権課題解決に向けた国際的基準・イニシアティブ^{※3}の支持・尊重を宣言します
- ③ 国連「ビジネスと人権に関する指導原則（ラギー・フレームワーク）」の考え方に則り、役職員・お客さま・サプライヤーというバリューチェーン全体の人権尊重を宣言します
- ④ 当金庫業務運営のバックボーンである健全な企業文化醸成と両輪で、人権問題への対応に取り組むことを宣言します

※3 世界人権宣言、社会権規約、自由権規約、労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言、国連ビジネスと人権に関する指導原則、国連グローバル・コンパクト、OECD多国籍企業ガイドライン